

## アンサンブル神戸

来月21日 中央区

## バンドネオン奏者招き定演

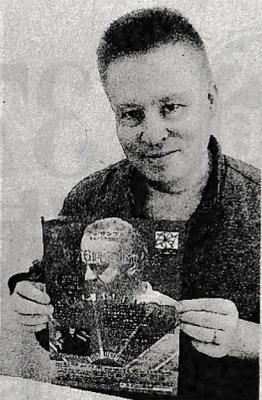


バンドネオンを演奏するヒルトウラさん。ヒルトウラさん提供

阪神・淡路大震災の後、仮設住宅を回る公演から始まったオーケストラ「アンサンブル神戸」が10月21日、フィンランド出身のバンドネオン奏者を招き、第76回定期演奏会を開く。

バンドネオンはタンゴの演奏などに使われる蛇腹楽器。見た目はアコーディオンに似ており、左右についた71個のボタンを押して演奏する。

「アコーディオンと比べ、音が温かいです」。そう話すのは今回、バンドネオンを演奏するヴィッレ・ヒルトウラさん(44)。バンドネオン奏者として世界中を駆け回り、2019年に神戸に移住。現在は関西を



バンドネオン奏者のヴィッレ・ヒルトウラさん。神戸市中央区

拠点に活動する。

演奏会では全4曲のうち、アルゼンチンタンゴの巨匠、アストル・ピアソラの代表作「ブエノスアイレスの四季」など2曲に参加。弦楽器が中心のアンサンブル神戸のオーケストラ約20人とともに演奏する。

ヒルトウラさんはもとはアコーディオンが専門だった。タンゴにクラシックなどを融合させたピアソラの音楽に出会い、24歳でバンドネオンを始めた。「神戸の会場でも演奏できることをうれしく思う。オーケストラとのハーモニーを聞いてもらえるはず」と意気込む。

演奏会は神戸新聞松方ホール(神戸市中央区)で19時開演。チケットは前売り券が一般3千円、学生1500円。当日券は3500円。申し込みは松方ホールチケットオフィス(078・362・7191)。

(大下美倫)